

功績調査部長殿

芙蓉(岩)機密第九號三三

軍極秘

昭和二十年七月十八日

芙蓉部隊天飛作戦々々斗詳報(第三十六号)

(伊江島口芙蓉攻襲証諏訪瀬島制空)

七月十九日送付

第七基地	天航空部隊
航空部隊	芙蓉部隊

0446

七月十八日伊江島回落暮攻襲 諏訪瀬島制空戦詳報

芙蓉部隊

一、計劃

1. 任務企図

(一) 作戰命令ノ要綱

機密T日B命令作第二号

沖繩周辺艦船並ニ同方面基地ニ対シテハ黎明夜間落暮良好ナル情况ニ於テ
効果アル攻襲ヲ實施シ敵兵力ノ漸減ヲ計ル

(二) 企図

零夜戦ヲ以テ最近跳梁甚シク敵夜戦ヲ奄美大島附近ニテ制空暨星夜戦十機ヲ
以テ決手ヲ作戦発動前敵兵力ノ漸減ヲ計リ伊江島飛リ陽落暮攻襲ヲ
決行セントス

口計劃

任務	使用機種機数	兵	長	発進時刻	使用電波
伊江島回攻襲	隼星十機	三五番三三号機	長	一九〇〇	六一五五Kc
奄美大島制空	零戦四機	全弾薬備	一八三〇		

二、経過

1. 戦中経過

(一) 伊江島回攻襲隊

(二)諏訪瀬島制空

機種	機番	操縦員	偵察員	戦果
習星	七二	飛曹 小林 弘	中尉 小内 要	一九一三発馬力エズ口永良部島附近より引込メ 五〇二五着
〃	一三七	飛曹 堀野勝芳	〃	八五五発二〇〇〇機銃設置不具合ノクモ発火 大島附近より引込メ二二〇〇着
〃	一〇七	飛曹長 安藤秀雄	飛曹 宮 恒治	八五六発中機銃故障シ降投時九州南部に墜 落シ多機位ヲ失シ口永良部島附近より引込メ 大破塔東員戦死
〃	九九	上飛曹 深堀三男	〃	一九一三発二二〇〇甲江島に引込メ二五廿三一早 降投下降着飛リ場南端効果不収 二二二五着 被害ナシ
〃	一三六	中尉 斎藤陽	上飛曹 菊池文次	八五八発二〇二五敵機ト遭遇シ機銃三発 ナリナリタルメソノマ、降投三三〇着被害ナシ
〃	九四	二飛曹 村上 明	中尉 布部正知男	八五九発回転計不良直ニ降着 一九二二着
〃	一九	上飛曹 上田英夫	〃	一九〇〇発機銃設置不具合ノクモ降投途中 敵夜戦ノ追撃攻撃ヲ受ケ二二二〇着被害ナシ
〃	七五	中尉 河原政則	二飛曹 宮崎 隆三	一九二二発一九二五方向舵昇降機キ、不良ノクモ 口永良部島より引込メ二二〇〇着
〃	九六	上飛曹 菅原秀三	田中 曉	一九二二発爾后連絡ナク未帰還
〃	一六	〃	川口次男	八五七発二〇四〇北西に引込メ二五廿三一早降 一発投下四角側ニ小火災ヲ引ヲ認メ 二二〇〇着 基地附近霧ノクモ降着時足脚 折損機体中破

0448

機程	機長	機員	氏名	戦	斗	経	過
零戦	九七	中尉	大野 実	一八三〇発	先端到達一九二七	二〇二〇着	敵ヲ見ス
〃	一〇〇	上飛曹	阪 芳夫	一八三〇発	先端到達二〇三〇	着	シ
〃	八三	飛曹長	辰形 勇	一八三〇発	先端到達二〇三〇	着	シ
〃	九〇	一飛曹	天辰重雄	一八三五発	先端到達二〇五五	着	シ

〇天候

屋久島附近 天候晴 雲量三〇四 雲高二〇〇〇 視界一五哩
 諏訪瀬島附近 天候晴 雲量五〇六 雲高一五〇〇 視界一五哩
 戦場附近 天候晴 雲量二 雲高四〇〇〇 視界一〇二〇哩

三令達報告

発	日時	宛	日時	令	達	報告	種別
九〇二四五	一九四〇二五八	岩川	〇	機密T日命令作第ニ号	沖繩周辺艦船駐ニ同方面基地ニ対シテハ黎明夜間落幕良好ナル情況ニ於テ効果アル攻意ヲ具施シ敵兵力漸減ヲ計ル	岩川天啓部隊戦斗概報(第三十九号)	文書
岩川	〇	藤枝	〇	一雙星十機一九〇〇ヨリ発進沖繩四攻雲ニ五〇迄七機降着(内四機発動機故障ノ為引返ス)ニ機敵夜戦ト交戦一機北回攻雲大炎祭云々(後続機次雲ルヲ認ム)ニ機未帰還零戦四機一八三ヨリ発進川島線ニ至リ全機降着敵ヲ見ス			

0449

四、戦果及被害

1. 戦果

伊江島に攻襲、彗星一機、攻撃せりト認めラルモノ一機、北に攻襲、彗星一機、何レも効果不取

諏訪瀬島制空、敵ヲ見入

2. 被害

彗星一機未帰還（菅原上飛曹、田中上飛曹）

彗星一機搭ノ原不時着機体大破搭乗員戦死（安藤飛曹長、宮三飛曹）
彗星一機降着時左脚折損機体中破

五、功績

六、戦訓所見

戦訓別冊

二天候 諏訪瀬島附近に曇、雲量五〇六、雲高一五〇〇〜二〇〇〇、
沖渡附近に晴、雲量二、雲高四〇〇〇

0450

伊江島回攻軍隊編制表

0451

7

